

＜三重県工業研究所・メールマガジン＞ 第 58 号（10 月号）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・2026 年 10 月 13 日発行・・・・・・・・・・・・・・・・

目 次

- 【1】 令和 8 年 三重県工業研究所事業成果発表会開催のお知らせ
- 【2】 レーザー回折・動的画像処理による粒子径・形状解析のご紹介
- 【3】 開放機器の紹介（No.41）「ビーズミル」
- 【4】 ICETT 主催セミナー「物流を変える。その先にあるカーボンニュートラル」
～人手不足・燃料費高騰への対応から始める脱炭素～参加者募集のご案内

【1】 令和8年 三重県工業研究所事業成果発表会開催のお知らせ

三重県工業研究所では、技術課題を抱える企業の皆様や支援機関の皆様との新たな連携・交流の機会として、「令和 8 年度 事業成果発表会」を開催いたします。

本発表会では、弊所が取り組む研究・事業成果をご紹介しますとともに、三重大学リカレント教育センター長である 青木雅生 教授 をお招きし、特別講演をいただきます。

当日のプログラムは以下のとおりです。

■特別講演

- ・【予測不可能な変化の時代における社会人の学び直しの課題
～大学らしいリカレント教育が担う地域の未来～】

講師：三重大学リカレント教育センター
青木 雅生 教授

■工業研究所 事業成果発表

- ・【三重県の自然環境中に存在する酵母・乳酸菌の探索と機能評価 -県内食品産業への利用に向けて-】
- ・【画像処理で見える化！ミツバチ活動監視システムの開発 -産学官連携による農業分野への技術展開-】
- ・【桑名の竹を活用した持続可能な鋳造用資材の開発】

■ポスターセッション & 議論交流会 ★現地参加者のみ

■施設見学 ★現地参加者のみ

※プログラムは変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

【開催日時】

令和 8 年 11 月 9 日（月）14:00～（ハイブリッド開催）

【開催場所】

三重県工業研究所 大会議室

〒514-0819 三重県津市高茶屋五丁目 5 番 45 号（※駐車場あり）

【参加費】

無料

【申込み先】

<https://logoform.jp/form/8vMX/1779837>

【詳細（ホームページ）】

<https://www.pref.mie.lg.jp/kougi/hp/p0039900055.htm>

現地会場では、発表者と自由に意見交換ができるポスターセッション・交流会や、名刺交換・情報交換、施設見学など、会場参加ならではの企画をご用意しております。

研究開発や技術課題の解決、新たなネットワークづくりにご関心のある皆様は、ぜひ会場へお越しください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【2】レーザー回折・動的画像処理による粒子径・形状解析のご紹介

三重県工業研究所 窯業研究室では、公益財団法人 JKA の助成を受け、「粒子径・形状解析装置（レーザー回折・動的画像式）」を導入しました。少量の試料で短時間に粒子径分布を測定できるほか、アスペクト比や円形度など粒子形状の評価も同時に行えます。測定は自動化スクリプトにより初めての方でも簡単に操作可能です。窯業原料だけでなく、金属・食品・エネルギーなど、様々な分野の粉末やスラリーも測定いただけます。

▼本機器については、実際の測定例も交えて、工業研究所だより第 49 号にてご紹介しています。

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001279784.pdf>

▼本機器の仕様や使用料は、以下のリンク先をご覧ください。(工業研究所機器データベース)

<https://www.db.pref.mie.lg.jp/db/view/details.asp?INFO=TWl3Mk1TeHJNVFUyTURNdw%3D%3D&RECORDNO=535&>

【3】開放機器の紹介(No.41)「ビーズミル」

三重県工業研究所 窯業研究室で保有している開放機器の中から「ビーズミル」をご紹介します。

ミルとは粉碎機を指し、陶磁器製造工程でよく使用されているのは、ポットミル等の転動ボールミルです。ポットミルは、ポットに粉碎したい原料と媒体（水等）、粉碎メディアとして磁製ボール等を入れてポットを回転させることで、メディアの衝突により原料を粉碎します。これによりスラリー（粉碎された粉体と溶媒の混合物である懸濁液）が容易に得られますが、メディア間の隙間に入った原料の粉碎は難しいため、数ミクロン以下の粒径へ微粉碎することが難しい機構となります。

一方、ビーズミルは、ポットミルで使用する磁製メディア等より小さいビーズを使用するため、ビーズ間の隙間が狭く、また、ビーズそのものを回転、衝突させながら原料を粉碎するので、サブミクロンレベルの微粉碎が比較的容易です。粉碎機の機構としては、一般には、一軸回転により、ディスクと呼ばれる羽のような部品を回転させることで、原料、媒体とメディアを動かすことで、湿式粉碎を行います。

当室が保有する装置では、棒状アームが攪拌子となりますが、粉碎機構はディスクのものと同様です。さらに、ビーズをアルミナ製から比重の重いジルコニア製に変更することにより、粉碎を促進することも可能です。

機器名：ビーズミル

型式：三井三池化工機株式会社製 MA-ISE・X 型

(1) 本装置の特徴

本装置は、セラミックス等の無機材料を湿式で 1 ミクロン以下に粉碎できる。装置内の攪拌子を高速で回転することにより、ビーズ（メディア、玉石）を攪拌、衝突させて試料を湿式で粉碎する。

(2) 仕様等

- ・ ビーズ：0.5mm,0.3mm アルミナ製、0.3mm ジルコニア製
- ・ 内容積：8 リットル、容器・攪拌子：ゴムライニング

(3) 使用料

基本料金 370 円／回＋370 円／時間（1 時間未満は切り上げ）

ーお問合せ先ー

ビーズミルのご利用、使用条件等の詳細をご希望の方は、電話（059-331-2381）又は、このメール末尾に記載のアドレスまでお問い合わせください。

▼機器の詳細については、こちらからご覧ください。

[https://www.db.pref.mie.lg.jp/db/view/details.asp?INFO=TWl3Mk1TeHJNVFUyTURNdw%3D%3D&RECORDNO=241&ALLSEEK=0&ALLSEEKKEYWORD=%83r%81\[%83Y%83~%83%8B&ALLSEEKANDOR=AND&](https://www.db.pref.mie.lg.jp/db/view/details.asp?INFO=TWl3Mk1TeHJNVFUyTURNdw%3D%3D&RECORDNO=241&ALLSEEK=0&ALLSEEKKEYWORD=%83r%81[%83Y%83~%83%8B&ALLSEEKANDOR=AND&)

▼当所の機器設備の利用方法や他の機器は、こちらをご覧ください。

<https://www.pref.mie.lg.jp/kougi/hp/38610032876.htm>

【4】 ICETT 主催セミナー「物流を変える。その先にあるカーボンニュートラル」

～人手不足・燃料費高騰への対応から始める脱炭素～参加者募集のご案内

公益財団法人国際環境技術移転センター（ICETT）では、下記のとおり、物流に関わる事業者の皆様を対象とするセミナーを開催いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

○概 要：

資材の調達や製品の輸配送に係る温室効果ガス（GHG）の排出は、大企業を中心にその削減に向けた対応が求められています。

一方で物流事業者は、GHG 排出量の削減以前に、燃料費の高騰や人手不足といった複数の経営課題への対応に迫られているのが実情です。

本セミナーでは、政策動向・物流 DX の先進事例・中小事業者の実践事例から、物流効率化と、その先にあるカーボンニュートラルの両立に向けたヒントをご紹介します。

○日 程：2026 年 10 月 23 日（金）13：30～15：40

○会 場：四日市商工会議所 会議所ホール I

○参加費：無料

○定 員：会場 50 名/オンライン 150 名（いずれも先着順です）

○申込方法：

会場参加

<https://forms.office.com/r/HTDeE56YAS>

オンライン参加

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_205eS8V1TGab8T1JMpUPVg

○申込締切：2026 年 10 月 22 日（木）

○プログラム（予定）

1.カーボンニュートラル実現に向けた政策動向

講師：経済産業省中部経済産業局 カーボンニュートラル推進室

内容：サプライチェーン全体の GHG 排出量削減と物流分野のアプローチ

2.荷主企業の温室効果ガス排出量削減に資する輸送の効率化

講師：株式会社オプティマインド

内容：DX を活用した、人に寄りそう輸送効率化、「Loogia」の導入効果・事例

3.CO₂削減を目指す物流事業者の事例紹介

講師：久居運送株式会社

内容：中小物流事業者として実践する脱炭素経営

★セミナー終了後に登壇者と直接意見交換ができる名刺交換会を実施します。

●案内の詳細は下記のウェブサイトをご確認ください。

<https://www.icett.or.jp/2026/09/post-3441/>

○問合せ先：＜事務局＞

公益財団法人国際環境技術移転センター(ICETT)

担当者：多田、尾崎

E-mail：cngroup@icett.or.jp <<mailto:cngroup@icett.or.jp>> TEL：059-329-3500

=====

■□■ このメールマガジンについて ■□■

◎皆さんからのご意見、ご質問、ご感想などをお待ちしております！

[編集・発行]

三重県工業研究所 企画調整課

〒514-0819 三重県津市高茶屋5丁目5番45号

電話番号：059-234-4036 ホームページアドレス：<https://www.pref.mie.lg.jp/kougi/hp/>

メールアドレス：kougi に続いて、@pref.mie.lg.jp を付記してください。

～ 「@」は全角になっていますので、半角に変更してください。～

～ メールアドレス収集ロボット対策としてご了承ください。～

=====